



「一日入学」で伝えたいこと

校長 久保 仁

早いもので、今月の5日には新1年生の「一日入学」があります。その際に保護者のみなさんにお伝えする内容です。

1. 自分のことが自分で出来るようにしてやる。(日々の生活のリズムをつくる)

朝、決めた時刻に自分で起きる。(目覚まし時計もOK) 食事をする。歯磨きをし、洗顔し、用便を済ませる。学校から帰ったら、宿題、自主学習や次の日の準備をする。家で決められた仕事(食事の準備・片付け、洗濯物をたたむ等のお手伝い)をする。さっさと風呂に入る。決めた時刻になったら自分で寝る等々。

これらは家の人にせかされなくても、自分で出来るようにならなければいけません。

躰は、ほっといても出来るわけではないので、少しずつ自分で出来るように親が教えていくことが大切です。

2. 正しい価値観・考え方を身につけさせる。

友だちをばかにしたり、意地悪をしたりすることは、人間として恥ずかしいこと。きまりを守ることは私たちの社会ではとても大切なこと。物事をまじめに考え、一生懸命がんばることは素晴らしいこと。みんなと一緒に生活すれば、やりたくないことでもやらなければならないことがある等々。

基本的に親のものの考え方や行動の仕方は子どもに強い影響を与えます。子どもが社会の一員として生きていく上での基礎をしっかり身につけさせることは親にしかできない大切な役目でしょう。

2月・3月の主な行事予定

月日	曜	校 内 行 事
2/ 1	月	放課後子ども教室
4	木	委員会活動
5	金	来年度入学児童一日入学(午後)
9	火	避難訓練(地震)
10	水	貯金日
11	木	(祝)建国記念の日
12	金	特別支援学級卒業生を送る会
18	木	クラブ活動(5・6校時)
19	金	友遊タイム 幼保小交流会 特別支援学級校外学習(西京)
25	木	クラブ活動 SC来校
26	金	参観日 学級懇談会 6年学級PTA活動・進学説明会 口座振替日 集金日
3/ 1	火	6年生を送る会 年度末PTA理事会 放課後子ども教室
3	木	年度末PTA評議員会・新旧役員引継会 委員会活動
4	金	友遊タイム
9	水	貯金日
14	月	学校運営協議会
18	金	卒業証書授与式
22	火	短縮授業
24	木	1～5年給食終了 ★5校時で下校
25	金	修了式 ★ 3/28～4/7 春休み
31	木	離任式

2月26日(金) 参観日

・13:30～14:15 授業参観

(6年保護者は、図書室にて伊佐中学校進学説明会)

・14:20～ 児童一斉下校

・14:30～15:15 1～5年 学級懇談会:各教室

○本年度最後の参観日になります。

1～5年生の保護者の皆様は、来年度PTA学級委員を決める話し合いがあります。よろしくお願いします。



1月19日(火) 6年生が「伊佐学」で友善塾について学びました。



1月18日～26日
校内書き初め展を行いました。
児童の力作が勢揃いしました。

「学校評価アンケート」へのご協力 ありがとうございました。

アンケートの結果をもとに今年度の伊佐小学校の教育活動について全教職員で話し合いました。その結果を「学校評価書」にまとめ裏面に掲載いたしましたので、どうぞご覧になってください。

教育目標		心豊かに生きぬく子どもを育てる							
各部会		まなび・知チーム				こころ・徳チーム			
各部会 活動視点		学びが学校で高まり、家庭で深まり、地域で広がる取組の推進				人や物との関わりを通して心を育てる道徳教育の推進			
1 取組項目 (各チームの 重点目標)		■授業づくり① ■家庭学習 ② ■読書活動 ③ ■地域人材 ④				■あいさつ運動⑤ ■体験活動 ⑥ ■生徒指導 ⑦ ■道徳教育 ⑧			
2 学校評価の結果	知徳体	児童	保護者	教職員	地域	児童	保護者	教職員	地域
	①⑤⑨	92	77	100	100	94	85	100	91
	②⑥⑩	94	93	91	91	88	90	100	100
	③⑦⑪	91	92	100	82	86	68	100	82
Aよくあてはまる		④⑧	86	83	100	91	96	74	91
Bややあてはまる									
3 取組の成果		①「教えて・考えさせて」の学習過程を意識した授業改善の積み重ねにより、児童の肯定率は維持することができている。 ②家庭学習、予習は定着してきているが、家庭学習の発達段階に応じたレベルに到達した児童が増えた。 ③学校図書館職員の配置等により、読み聞かせ活動を継続して行った結果、児童の読書への関心が高まり、読書意欲が向上してきた。読書習慣のついている児童とついていない児童が固定化してきている。 ④地域では、さまざまな項目で肯定率が高く、温かい見守りを感じる。				⑤集会委員会からの提案で、1年間の大きなめあてをあいさつにしたこと、また、11月にあいさつ運動強調月間を実施したことで、児童・保護者共に意識が高まってきた。 ⑥今年度も、伊佐学や校外活動、一人一鉢運動、ふれあい給食友遊タイムなど、多くの体験活動を行い、異学年との交流が深まった。 ⑦毎週木曜日の振り返り、それを受けた金曜日の職員による児童理解の会で、児童の実態把握に努めてきた。一人一人の理解も深まっている。また、月ごとのめあての徹底を図ろうと、多くの言葉がけをしてきたので、児童が意識して行動し始めた。 ⑧道徳の年間計画をもとに、心の根を育てようと、多くの場面で言葉がけをしてきたので、児童自身の振り返りができている。			
4 取組の課題		①理解深化課題等を児童の意欲を高める授業改善をしたい。 ②家庭学習の発達段階に応じたレベルに到達していない児童への取り組みが課題である。 ③読書習慣のついている児童とついていない児童が固定化してきているので、ついていない児童へ支援の仕方を工夫する。 ④話の内容や時間等についての打ち合わせの時間の確保ができない。				⑤学校などで人に言われるとできている児童は多いが、「進んで」ということになると、まだまだである。家庭と協力して言葉がけをしていく必要がある。 ⑥毎年同じような活動で、マンネリ化しつつある。同じ活動でも、取組の中に工夫が必要である。 ⑦学校での取組が、なかなか保護者に伝わっていない。肯定率は、昨年度より少し良くなっているが、徹底できていない。社会の中でルールが守れるように、保護者を巻き込んだ生徒指導が望まれる。 ⑧道徳教育は、心を育てることが大きな目標である。道徳の時間で学んだことが日常の生活の中で、生かされるように、一人一人の内面に目を向けていかなければならない。			
5 改善策		①基礎・基本の定着をめざして、さらなる授業改善を全校体制で継続していく。チャレンジタイムを充実・発展させるために、実施内容・方法を見直す。 ②「やまぐちっ子学習プリント」を活用しての基礎・基本の定着、活用力の育成を目指していく。日々の授業とのリンクや理解深化問題作成の工夫が必要である。 ③図書館担当教員と連携し、読み聞かせなどの読書啓発活動を進めていく。 ④伊佐学の内容や学習支援ボランティア等の活動の仕方を広げていき、「ふるさと伊佐」についての学習を体系的・継続的に見直していく必要がある。				⑤いつでも、どこでも、誰にでも、あいさつができるように、学校だけでなく日頃からの（保護者をまきこんだ）働きかけが必要である。協力的な保護者であるので、子どもを通して家庭への働きかけを増やしていく。 ⑥マンネリ化している活動の見直しをしていく。それぞれの活動は、どれも意義があるものなので、同じ活動でも少し工夫をして児童が意欲的に取り組める活動にする。 ⑦昨年度より肯定率は上がっているがまだまだ低い。学校の取組を学校日より等を使って発信していく。 ⑧学習だけでなく、多くの活動を通して、自分の心と向き合える時間を確保していく。			